

入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。
令和8年10月13日

契約担当官
航空自衛隊第3航空団
会計隊長 長谷川 拓生

1 工事概要

- (1) 工事名 真空給水ポンプ等更新工事
- (2) 工事場所 航空自衛隊三沢基地
- (3) 工期 契約締結日～令和9年3月31日
- (4) 本工事は、工事費内訳明細書の提出を義務付ける工事である。
- (5) 本工事は、現場閉所による週休2日を確保する「完全週休2日制工事（土日）」の試行対象工事である。
- (6) 本工事は、一般競争参加資格確認申請を提出し、競争参加資格があると認められた者に対し、入札書の提出期限の6日前（行政機関の休日を除く）までに見積参考資料を交付する試行工事である。
なお、「見積参考資料」は、建築工事請負契約条項第1条の設計図書ではなく、見積上の参考資料であり、その有効期限は、本工事の開札日までとする。
- (7) 指定品目については、契約後に契約後に建築工事請負契約条項第27条第5項（単品スライド）による請求があった場合、1品目としてスライド判定を行う（「特例措置」）ものとする。

2 競争参加資格

- (1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
- (2) 防衛省における一般競争（指名競争）参加資格（以下「防衛省競争参加資格」という。）のうち、「管」で級別の格付を受けていること。（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申立てがなされている者については、手続開始の決定後、再度級別の格付を受けていること。）
- (3) 会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者（(2)の再度級別の格付を受けた者を除く。）でないこと。
- (4) 防衛省競争参加資格の「管」に係る等級（防衛省競争参加資格の資格審査結果通知書（以下「資格審査結果通知書」という。）の記3の等級）がC等級以上であること。
- (5) 一般競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）、申請書記載の競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）及び資格審査結果通知書の提出期限の日から開札の時点までの期間に、防衛省のいずれかの地方防衛局長又は地方防衛支局長（長崎防衛支局長を除く。）から、工事請負契約等に係る指名停止等の措置要領について（防整施（事）第150号28.3.31）に基づく指名停止を受けていないこと。
- (6) 入札に参加しようとする者の間に資本関係、人的関係又はそれらと同視しうる関係がないこと（資本関係又は人的関係がある者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）
- (7) 都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格業者でないこと。
- (8) 情報保全に係る履行体制について懸念が存在する者又は業務従事者若しくは親会社等の国籍その他これに類するものが、発注者との契約に違反する行為を求められた場合に、これを拒む権利を実効性をもって法的に保障されない国又は地域に該当する者及び国連安保理決議において労働許可を提供しないことが決定されている国又は地域に該当する者は入札参加を認めない。

[(9) は、請負金額が4500万円以上（建築一式9000万円以上）の場合に適用する。]

- (9) 次の基準を全て満たす監理技術者又は主任技術者（以下「監理技術者等」という。）を当該工事に専任で配置できること。
ア 一級建築士又はこれと同等以上の資格を有する者である。【建築工事の場合】

イ 過去15年の間に同類と認める工事の経験を有する者である（原則、着工から完成まで従事している。）。

なお、当該経験が平成13年12月25日以降に完成した防衛省発注機関（旧防衛施設局及び旧防衛施設支局を含む。）の発注した工事に係るものにあつては、評定点合計が65点未満のものを除く。また、経験が工事成績相互利用登録機関が発注した工事で工事成績評定相互利用対象工事に該当するものである場合は、工事成績の評定点が65点未満のものを除く。

ウ 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者である。

3 入札手続等

(1) 担当部隊等

〒033-8604 青森県三沢市後久保125-7

航空自衛隊第3航空団（三沢基地）会計隊契約班

TEL（0176）53-4121（内線：3681）

FAX（0176）53-5464 担当：西本

(2) 入札説明書等の交付

ア 交付期間

令和8年10月13日から令和8年11月4日まで（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条第1項に規定する行政機関の休日を除く。）の毎日、午前8時15分から午後5時

イ 交付場所

(1)及び三沢基地ホームページの調達情報

ウ 交付書類

入札説明書、仕様書、申請書、資料、その他、契約担当官が必要と認めるもの

エ 交付方法

手交若しくは三沢基地ホームページの調達情報より入手

なお、仕様書については、公告とともに公示している場合は、三沢基地ホームページの調達情報から入手可能である。

(3) 申請書、資料及び資格審査結果通知書の提出期限等

ア 提出期限

令和8年11月4日17時00分

イ 提出方法

持参又は郵送（書留郵便に限る。）若しくは託送（書留郵便と同等のものに限る。）（以下「郵送等」という。）する。

(4) 入札書等の提出期限等

ア 提出期限

令和8年11月11日17時00分

イ 工事費内訳明細書の提出

工事費内訳明細書についても、入札書と同時に提出するものとする。

ウ 提出方法

持参又は郵送等

※入札書及び工事費内訳明細書を各々封筒に入れて封かんし、入札書を入れた封筒の表に「入札書在中」と朱書きする。さらにこれらを1つの封筒に入れて封かんし、封筒の表に工事名、開札日時及び商号又は名称を記載の上、提出する。また、一般競争参加資格確認通知書（入札説明書第7項第7号に示すもの）又はその写しを提示する。

(5) 開札の日時及び場所

ア 日時 令和8年11月18日（水）14時00分

イ 場所 航空自衛隊三沢基地（合同庁舎1階会計隊入札室）

4 その他

(1) 手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金

免除

(3) 契約保証金

免除。ただし、落札者は、公共工事履行保証証券による保証（瑕疵担保特約（1年間）を付したものに限る。）を付するものとする。この場合の保証金額は、請負代金額の10分の1（予決令第86条の調査を受けた者との契約については10分の3）以上とする。

(4) 入札の無効 次に掲げる入札は無効とする。

ア 本公告に示した競争参加資格のない者のした入札

イ 申請書、資料を含む提出書類に虚偽の記載をした者のした入札

(5) 落札者の決定方法

予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不適當であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とすることがある。

(6) 落札者となるべき者の入札価格が予決令第85条の規定に基づいて作成された基準（以下「調査基準価格」という。）を下回っている場合は、予決令第86条の調査（以下「低入札価格調査」という。）を行うので、協力しなければならない。

(7) 入札後、契約を締結するまでの間に、都道府県警察から暴力団関係者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格者とは契約を行わない。

(8) 契約書作成の要否
要

(9) 適用する契約条項

本工事は、航空自衛隊標準契約条項建設工事請負契約条項、適用契約条項及び暴力団排除に関する特約条項を適用する。

(10) 資料のヒアリングを行う場合がある。

(11) 関連情報を入手するための照会窓口
3 (1)に同じ。

(12) 競争参加資格の級別の格付を受けていない者の参加

上記2 (2)に掲げる競争参加資格の級別の格付を受けていない者も上記3 (3)により申請書及び資料を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時に於いて当該資格の格付を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。

〔(13)アは、請負金額が4 5 0 0万円以上（建築一式9 0 0 0万円以上）の場合に適用する。〕

(13) 配置予定監理技術者の確認

ア 落札者決定後、配置予定の監理技術者の専任制違反の事実が確認された場合、契約を結ばないことがある。

イ 種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合の外は、配置予定技術者の変更を認めない。

〔(14)は、請負金額が4 5 0 0万円以上（建築一式9 0 0 0万円以上）の場合に適用する。〕

(14) 専任の監理技術者の配置が義務付けられている工事において、調査基準価格を下回った価格をもって契約する場合においては、監理技術者とは別に同等の要件を満たす技術者の配置を求めることがある。

(15) 詳細は、入札説明書による。

本件入札参加検討頂いている各業者様へ

本件につきましては入札参加手続き及び仕様に関する問い合わせを円滑にするため窓口を分けさせていただきます。本件に関する問い合わせは内容により下記連絡先に問い合わせお願いいたします。

契約、入札参加等に関する問い合わせ先

会計隊契約班 西本 0176-53-4121（内線 **3681**）

仕様書の内容に関する問い合わせ先

施設隊施設班 宮城（ミヤギ） 0176-53-4121（内線 **3626**）

その他問い合わせにつきましては西本の方にお願ひします。

お手数かけますがご協力のほどよろしくお願ひします。

特記仕様書

1 工事概要

工 事 名：真空給水ポンプ等更新工事

工事場所：青森県三沢市大字三沢字後久保125-7 航空自衛隊三沢基地（#117、#231、#260、#378、#379）

工事概要：真空給水ポンプ及び給水ポンプ撤去、プレッシャーポンプ新設、排水ポンプ更新工事

2 一般共通事項

(1) 適用基準等

特記仕様書及び図面（以下「設計図書」という。）に記載されていない事項は、次を適用する。また、工事の施工時における最新のものとする。

ア 国土交通大臣官房官庁制定「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」

イ 国土交通大臣官房官庁制定「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」

ウ 国土交通大臣官房官庁制定「営繕工事写真要領」

エ 建築基準法

オ 労働安全衛生法

カ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

キ その他関係法令

(2) 入門申請手続き

ア 契約相手方は、速やかに自衛隊工事従事者入門申請書（部隊定型様式）を住民票の写しを添えて、3部提出するものとする。

イ アの承認を受け、リクエストカード（米空軍三沢基地（以下、「米軍」という）定型様式）（顔写真3.5×2.5cmを貼付）及び履歴書（米軍定型様式）を記入し、部隊長の確認後、入門係へ写真1部を添えて提出するものとする。

ウ 車両の乗り入れについては、イの手続き完了後、部外者車両乗入許可申請書（部隊定型様式）を車検証及び車検証記載事項並びに運転免許証を添えて、入門係へ提出するものとする。

エ 上記ア～ウについては、1週間以上入門が確実な者とし、1週間未満の者は監督官と調整するものとする。

(3) 臨時立入申請書

契約相手方は、監督官の指示により、速やかに臨時立入申請書（部隊定型様式）と住民票の写しを添えて提出するものとする。

(4) 現場代理人

契約相手方は、着工前に現場代理人を通知するものとする（部隊定型様式）。

(5) 着工届

契約相手方は、着工届（部隊定型様式）にて着工日を通知するものとする。

(6) 工程表

契約相手方は、事前に工程表を作成し、監督官の承認を得るものとする。

(7) 疑義に対する協議

設計図書に定められた内容と適用基準等に相違のある場合又は現場の納まり、取合い等の関係で、設計図書によることが困難又は不都合な場合は監督官と協議し、打合せ簿（部隊定型様式）に記録するものとする。

(8) 工事現場管理

ア 工事現場への立入りは、監督官の承認を得ること。また、次に示す事項は、厳に慎むこと。

(ア) 工事現場区域外への立入り

(イ) 指定場所以外での喫煙、火気の使用

(ウ) 工事に関係のない場所の撮影

イ 施工条件

(ア) 本工事における作業時間は、8時15分から17時00分を基本とする。

なお、作業期間中の休日（土曜日、日曜日、祝日等）及びその他監督官が指定する日を作業不能日とする。但し、やむを得ず作業不能日に実施しなければならない場合は、事前に残業届（部隊定型様式）を提出し、監督官の了承を得るものとする。

(イ) 部隊任務遂行上、作業日時の変更又は中断を指示された場合は、速やかに従わなければならない。

ウ 安全管理

(ア) 安全管理は、すべて契約相手方の責任において実施すること。

(イ) 工事に関連し、付帯設備等を破損した場合は、直ちに監督官に報告するとともに契約相手方の負担において速やかに復旧するものとする。

(ウ) 災害及び事故が発生した場合は、人命の安全確保を優先するとともに、二次災害が発生しないよう工事現場の安全確保に努め、直ちにその経緯を監督官に報告するものとする。

(エ) 工事現場での作業に当たり、火気は使用しない。ただし、やむを得ず、火気を使用する場合又は作業で火花等が発生する場合は、着工する7日前までに監督官に火気等使用申請許可証（部隊定型様式）を提出するものとする。また、火気等の取扱いに十分注意するとともに、次に示す火災防止の措置を講ずる。

a 使用する火気に適した種類及び容量の消火器等を設置する。

b 火気の使用箇所付近に可燃性のもの及び危険性のあるものを置かない。

c 火気の使用箇所付近は、防災シート等による養生及び火花の飛散防止措置を講ずる。

d 作業終了後は、十分に点検を行い、異状のないことを確認する。

エ 上記ア～ウについて、施工計画書（契約相手方所定）を提出するものとする。

オ 発生材の処理

(ア) 金物等の発生材

金物等の発生材については、図示する場所（現場から7km以内）に整理集積し、発生材報告書（部隊定型様式）を添えて引き渡すものとする。なお、長さが3mを超える物については、3m以内になるよう切断等したうえで整理集積するものとする。

(イ) その他の発生材

その他の発生材については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づいて適正に処分するものとし、産業廃棄物管理票（マニフェスト）の写しを監督官に提出するものとする。

カ 清掃及び後片付け

工事に関連する部分（進入路等を含む。）の清掃及び後片付けを行うこと。

(9) 材料

ア 材料の品質

設計図書に型式が記載された材料は、当該商品または同等品以上のものを使用するもの

とし、同等品以上のものを使用する場合は、監督官の承認を受けるものとする。

イ 材料検査

材料を搬入するごとに監督官に報告するものとし、材料の種別ごとに材料検査簿（部隊定型様式）を添えて、検査を受けるものとする。

(10) 工事写真

工事写真の撮影は、施工前、施工中及び完成後とし、各工程に従い、位置及び規格が設計図書と対照して確認できるように説明事項を記載した黒板等を添えて、同一箇所を同一方向から撮影したものをアルバム整理し、提出するものとする。

なお、電子黒板アプリケーションの使用を可とするが、国土交通省大臣官房官庁営繕部発「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」（令和5年3月1日付け国営建技第14号）に定められたものとする。

(11) 官側の便宜供与

契約相手方は、本工事において基地の電気及び水道を使用する必要がある場合は、監督官と協議するものとする。

(12) 工事完成検査

次に示す確認及び検査をもって工事完成とする。

ア すべての作業終了後、工事場所において検査官による工事の完成確認

イ 検査官による完成通知書（部隊定型様式）及び引渡書（部隊定型様式）を含む全書類の書類検査

3 工事仕様

工事種別及び数量は、次のほか設計図のとおり。

(1) 仮設工事

ア 既存部分の養生は、ビニルシート等の適切な方法で養生を行う。また、既存家具、既存設備等に対しても同様に養生を行う。

イ 仮設間仕切り等により施工作業範囲が定められた場合は、施工作業範囲外にじんあい等が飛散しないよう養生する。

ウ 石綿が検出された工事場所は、石綿のレベルに応じ、周囲への飛散防止等適切に処置を行うものとする。

(2) 撤去工事

ア 撤去作業時に、既存部分に損傷を与えないように注意するとともに、運搬作業時における撤去材の飛散及び落下防止に努めるものとする。

イ 石綿が検出された工事場所において、配管切断は努めて保温材から露出している配管で切断を行い石綿の飛散防止に努めるものとする。

(3) 配管工事

ア プレッシャーポンプ更新及び排水ポンプの交換は、製造メーカーの仕様に基づき設置し、既設管への接続を行う。

イ 更新作業時に既設部分と納まりが悪い場合は、標準仕様書により、施工及び調整を行うものとする。

(4) 塗装工事

更新後の配管は塗装するものとし、一般配管類（黒管）は、さび止め塗りを2回、一般配管類（白管）は、さび止め塗りを1回及び合成樹脂塗料を2回行うものとする。

(5) 保温工事

蒸気管、# 1 1 7 の還水管並びに # 3 7 8 及び # 3 7 9 の 2 0 A ・ 5 0 A の還水管を保温するものとする。

(6) 石綿含有建材の除去工事

石綿含有建材建物及び内容は、次のとおりとし、各項目を遵守するものとする。

ア 建物及び区分

建物	区分	材質	備考
# 1 1 7、# 2 6 0、 # 2 3 1、# 3 7 8、 # 3 7 9	配管保温材 配管接合材	ロックウール、アルミガラスク ロス化粧原紙、綿布、パッキン	法令に従い処分

イ 除去した建材については、飛散防止処置をしたのち、他の物と混在することがないように分別及び表示を行い法令に従い適切に処分するものとする。

ウ 除去に際し、石綿に汚染され、分別が困難とされる建材においても上記と同様の処置を行い適切に処分するものとする。

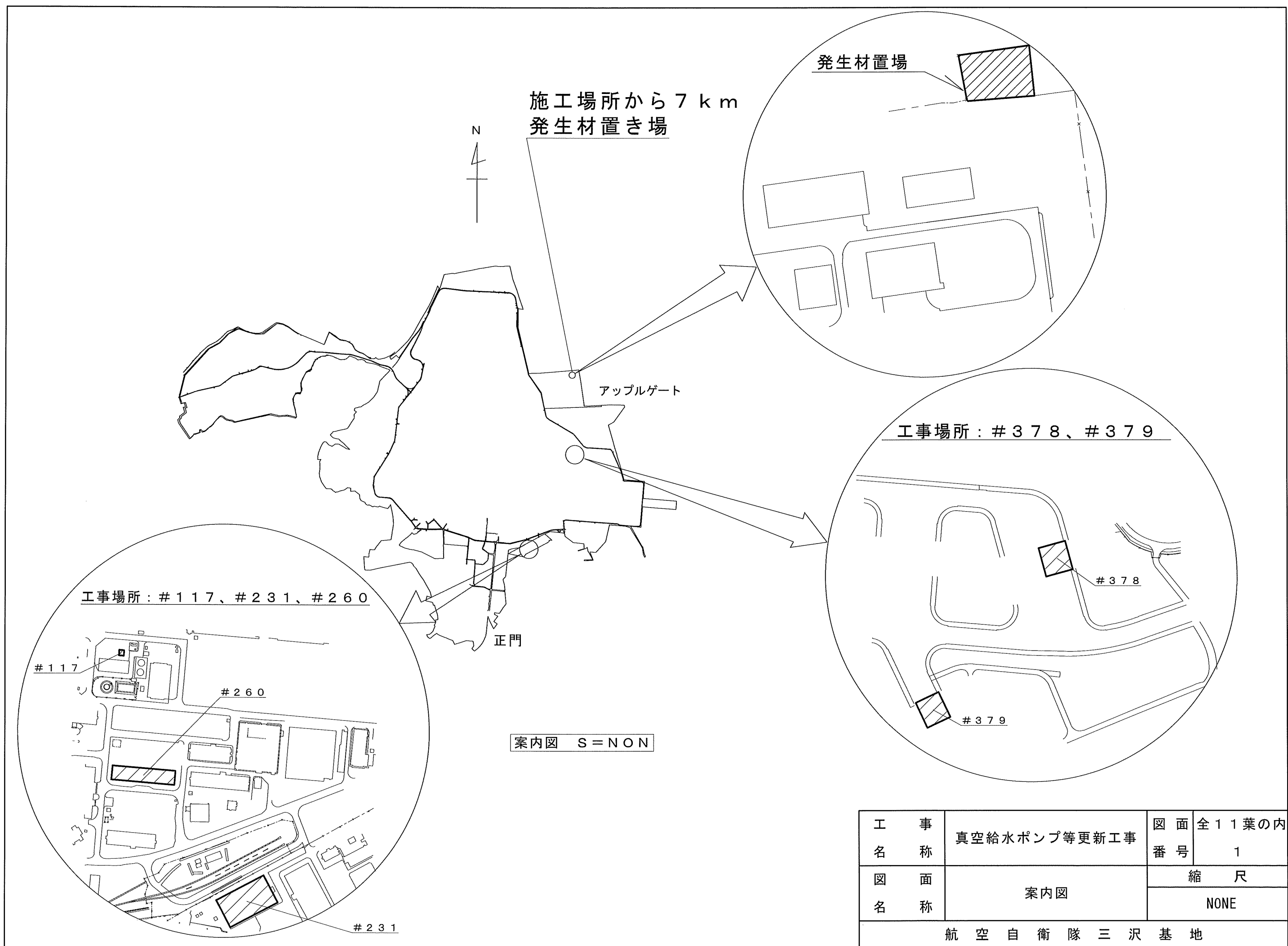
(7) 作動試験

全ての作業終了後、作動試験を実施し、全ての動作を確認するものとする。

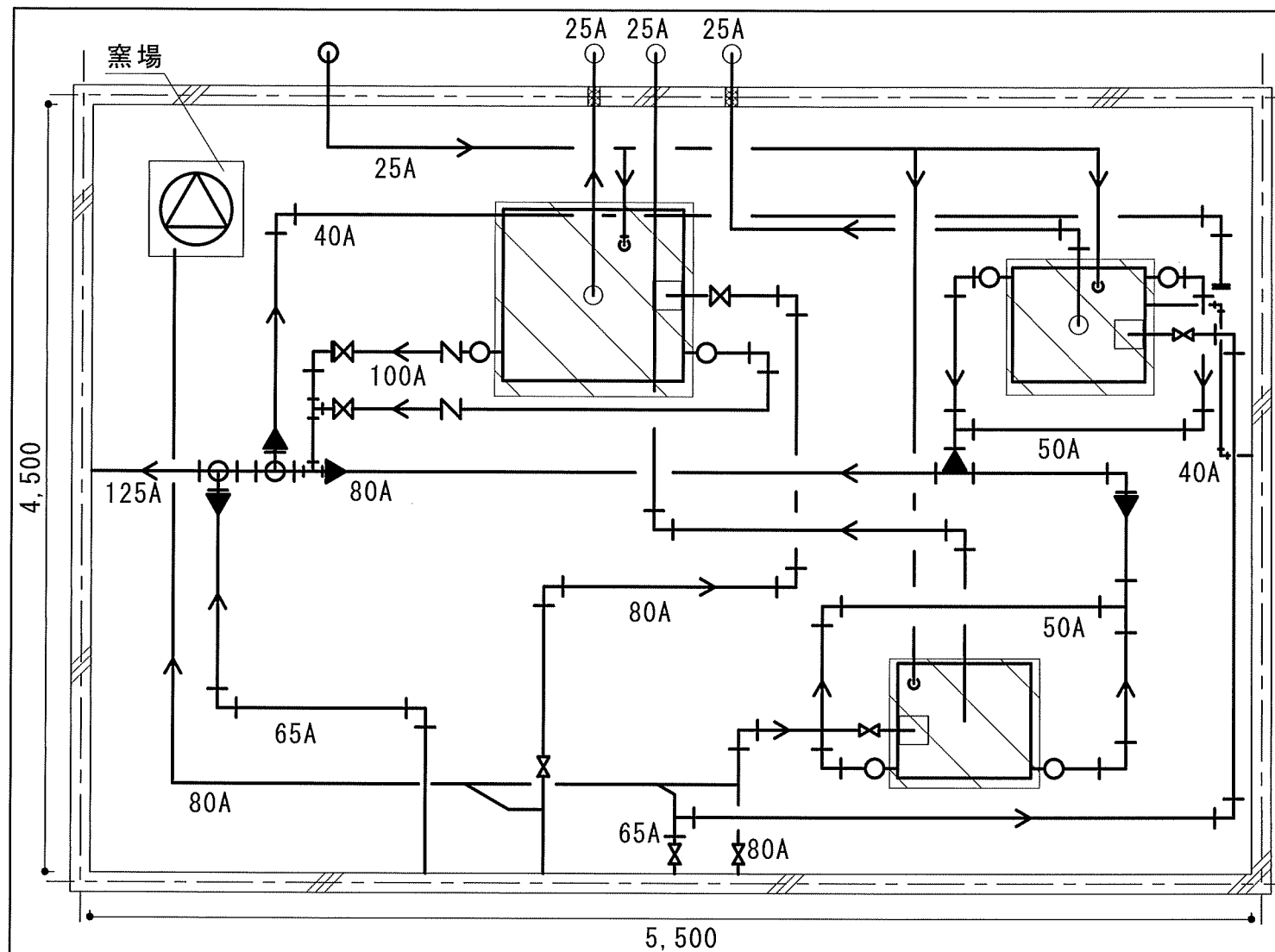
4 提出書類

提出書類は、次のとおりとし、監督官の示す期日までに提出し、確認を受けるものとする。

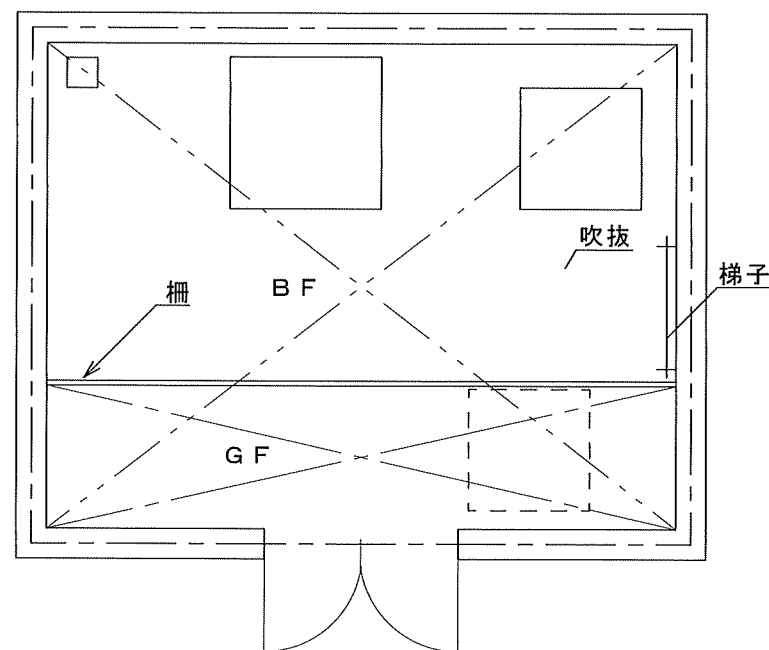
No.	書類名	部数	備考
1	着工届	1	部隊定型様式
2	施工計画書	1	契約相手方所定
3	施工体制台帳	1	契約相手方所定
4	工程表	1	契約相手方所定（作業工程，日時等を明記）
5	自衛隊工事従事者入門申請書	3	部隊定型様式（証明写真貼付、他 2 枚提出）
6	現場代理人通知書	1	部隊定型様式（経歴書共）
7	打合せ簿	1	部隊定型様式，必要に応じ提出
8	材料検査簿	1	部隊定型様式
9	発生材報告書	1	部隊定型様式
10	工事写真	1	契約相手方所定（カラー印刷，アルバム整理）
11	完成通知書	1	部隊定型様式
12	引渡書	1	部隊定型様式
13	その他監督官の指示する書類	—	その都度



工 事 名 称	真空給水ポンプ等更新工事	図 面 番 号	全 1 1 葉 の 内 1
		縮 尺 NONE	
航 空 自 衛 隊 三 沢 基 地			

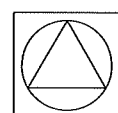


H (床から天井まで) 7.3 m

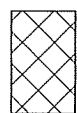


及び太線は、撤去範囲を示す。数量は上記のとおり。

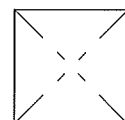
凡例



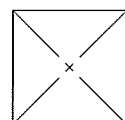
ポンプ



機械はつり



BF : 地下

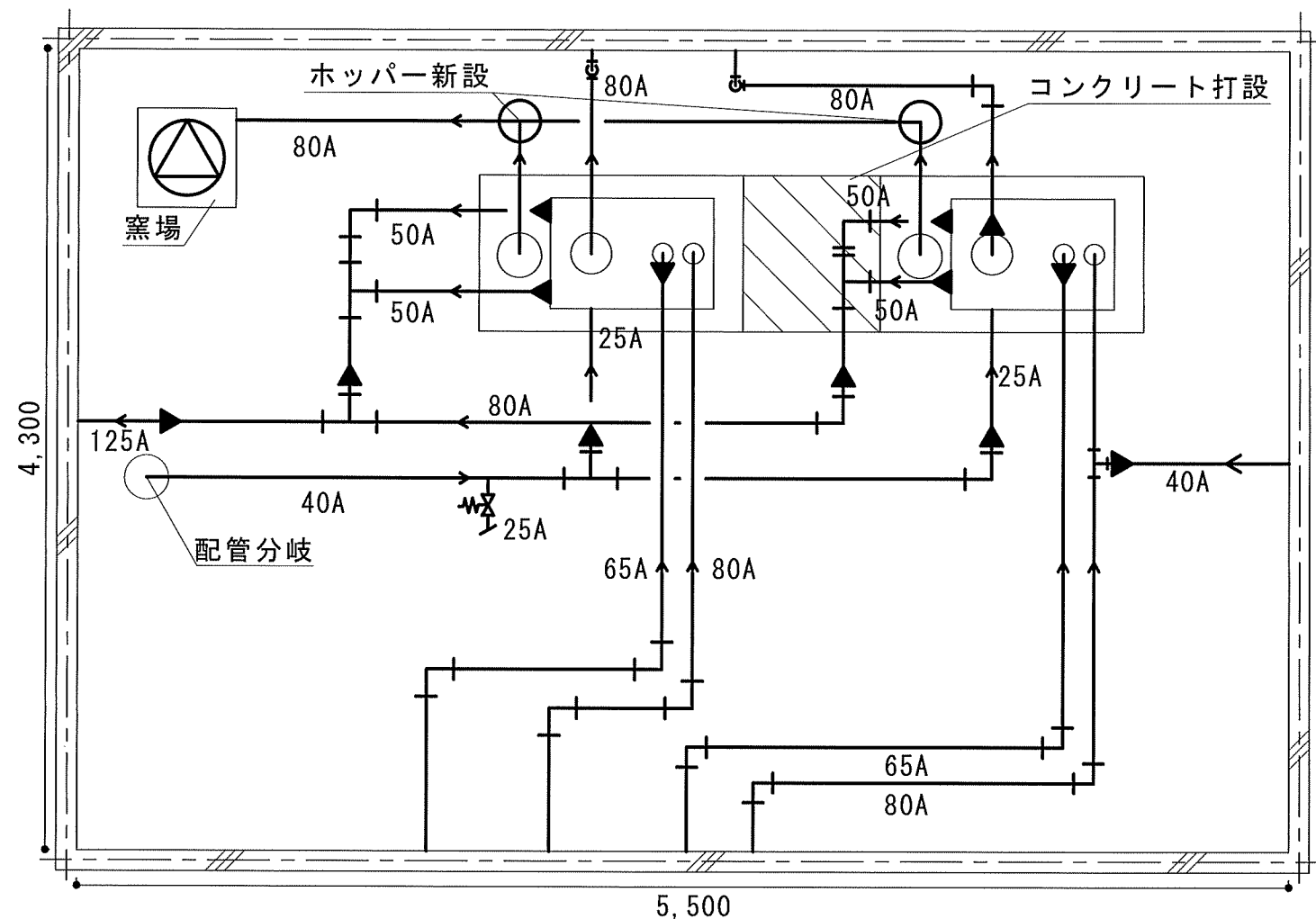


GF : 地上

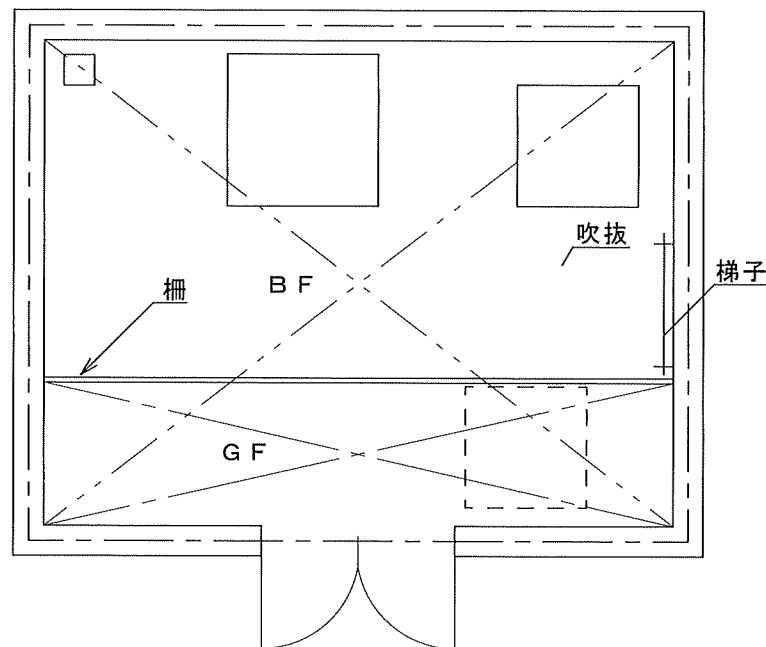
撤去数量

名 称	数 量	単 位	備 考
凝縮水ポンプ	1	台	1, 190 kg
凝縮水ポンプ	1	台	330 kg
真空給水ポンプ	1	台	440 kg
排水水中ポンプ	1	台	70 kg
還水圧送配管	4	m	STPG (黒) 65 A
高圧還水管	8	m	STPG (黒) 80 A
中圧還水管	10	m	STPG (黒) 65 A
低圧還水管	4	m	STPG (黒) 80 A
還水管	8	m	STPG (黒) 100 A
還水管	8	m	STPG (黒) 50 A
還水管	8	m	STPG (黒) 50 A
還水管	10	m	STPG (黒) 40 A
還水管	2	m	STPG (黒) 125 A
還水管	4	m	STPG (黒) 80 A
排気管	48	m	SGP (黒) 25 A
補給水管	8	m	SGP-V A (黒) 25 A
排水管	12	m	SGP (黒) 80 A
仕切弁フランジ	2	個	80 A 高圧還水系統
仕切弁フランジ	2	個	65 A 中圧還水系統
仕切弁フランジ	2	個	65 A 低圧還水系統
仕切弁フランジ	2	個	100 A 高圧用給水ポンプ
逆止弁フランジ	2	個	100 A 高圧用給水ポンプ
ロックウール保温材	2	m	125 A t=25 SUS鋼板
ロックウール保温材	8	m	100 A t=25 SUS鋼板
ロックウール保温材	16	m	80 A t=20 SUS鋼板
ロックウール保温材	14	m	65 A t=20 SUS鋼板
ロックウール保温材	16	m	50 A t=20 SUS鋼板
機械はつり	2	箇所	Φ125×厚さ150 mm

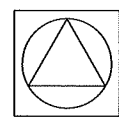
工 事 名 称	真空給水ポンプ等更新工事	図 面 番 号	全 1 1 葉 の 内 2
		縮 尺	NONE
航 空 自 衛 隊 三 沢 基 地			



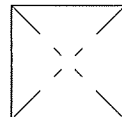
H (床から天井まで) 7.3m



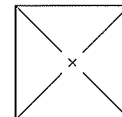
凡例



ポンプ



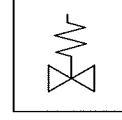
BF : 地下



GF : 地上



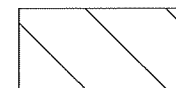
異径配管接続接手類



安全弁

新設数量

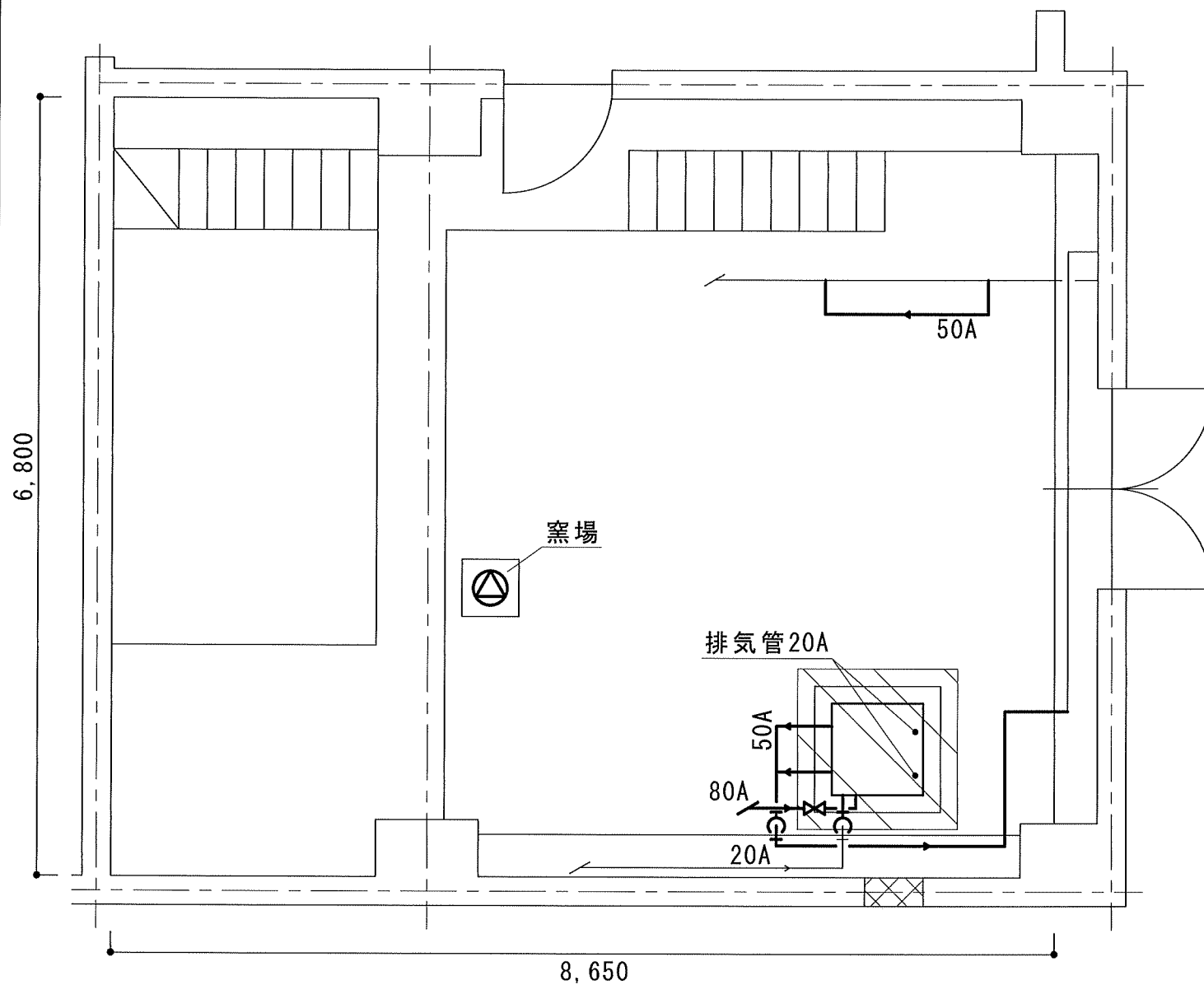
名 称	数 量	単 位	備 考
プレッシャーポンプ	2	台	MFP14-UNIT
排水水中ポンプ	1	台	80DLA53.7
蒸気管	8	m	SGP(黒)40A
蒸気管	10	m	SGP(黒)25A
安全弁開放管	8	m	SGP(黒)25A
還水圧送配管	8	m	STPG(黒)65A
高圧還水管	12	m	STPG(黒)80A
中圧還水管	10	m	STPG(黒)65A
低圧還水管	8	m	STPG(黒)80A
低圧還水管	4	m	STPG(黒)40A
還水管	2	m	STPG(黒)125A
還水管	2	m	STPG(黒)80A
還水管	14	m	STPG(黒)50A
大気開放管	16	m	SGP(黒)80A プレッシャーポンプ接続口200A
オーバーフロー管	6	m	SGP(黒)50A プレッシャーポンプ接続口80A
ドレン管	4	箇所	SGP(黒)20A 各1次系統ドレン抜き用 仕切弁含む
排水管	6	m	SGP(白)80A
安全弁	1	個	25A 蒸気用
配管塗装	2	m	125A さび止め2回
配管塗装	38	m	80A さび止め2回
配管塗装	18	m	65A さび止め2回
配管塗装	20	m	50A さび止め2回
配管塗装	14	m	40A さび止め2回
配管塗装	18	m	25A さび止め2回
配管塗装	6	m	80A さび止め1回 合成樹脂塗料2回
ロックウール保温材	8	m	蒸気管 40A t=30 Pフィルム 着色アルミガラスクロス
ロックウール保温材	10	m	蒸気管 25A t=20 Pフィルム 着色アルミガラスクロス
ロックウール保温材	2	m	還水管 125A t=25 Pフィルム 着色アルミガラスクロス
ロックウール保温材	22	m	還水管 80A t=20 Pフィルム 着色アルミガラスクロス
ロックウール保温材	18	m	還水管 65A t=20 Pフィルム 着色アルミガラスクロス
ロックウール保温材	14	m	還水管 50A t=20 Pフィルム 着色アルミガラスクロス
ロックウール保温材	4	m	還水管 40A t=20 Pフィルム 着色アルミガラスクロス
コンクリート打設	1	箇所	型枠・打設手間含む
配管分岐	1	箇所	蒸気管 65A×40A
排水水中ポンプ配管接続	1	箇所	



及び太線は、新設範囲を示す。数量は上記のとおり。

※配管の取合いに関しては監督官と協議の上決定するものとする。

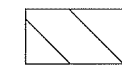
工 事 名 称	真空給水ポンプ等更新工事	図 面 番 号	全 1 1 葉 の 内 3
図 面 名 称	# 1 1 7 新設平面図	縮 尺	NONE
航 空 自 衛 隊 三 沢 基 地			



H (床から天井まで) 5.6m

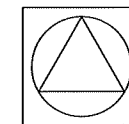
撤去数量

名 称	数 量	単 位	備 考
真空給水ポンプ	1	台	450kg
排水水中ポンプ	1	台	
蒸気管	2	m	SGP (黒) 50A
還水管	2	m	STPG (黒) 80A
還水管	4	m	STPG (黒) 50A 給水ポンプ
排気管	14	m	SGP (黒) 20A
補給水管	2	m	SGP-VA (黒) 20A
排水管	2	m	SGP (白) 15A
仕切弁フランジ	1	個	80A
機械はつり	1	箇所	Φ125×厚さ150mm程度

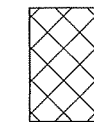


及び太線は、撤去範囲を示す。数量は上記のとおり。

凡例



ポンプ



機械はつり

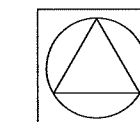
工 事 名 称	真空給水ポンプ等更新工事	図 面 番 号	全11葉の内 4
図 面 名 称	#260 撤去平面図	縮 尺	NONE
航 空 自 衛 隊 三 沢 基 地			

新設数量

名 称	数 量	単 位	備 考
プレッシャーポンプ	1	台	MFP14-UNIT
排水水中ポンプ	1	台	40PUA2.25S
蒸気管	8	m	SGP(黒)25A
還水管	2	m	STPG(黒)80A
還水管	4	m	STPG(黒)50A
大気開放管	8	m	SGP(黒)80A
オーバーフロー管	2	m	SGP(黒)50A
玉形弁	1	個	25A 10K
配管塗装	10	m	80A さび止め2回
配管塗装	6	m	50A さび止め2回
配管塗装	8	m	25A さび止め2回
ロックウール保温材	8	m	蒸気管 25A t=20 アルミガラスクロス
コンクリート打設	1	箇所	型枠・打設手間含む
排水水中ポンプ接続	1	箇所	

及び太線は、新設範囲を示す。数量は上記のとおり。

凡例



ポンプ

※配管の取合いに関しては監督官と協議の上決定するものとする。

6,800

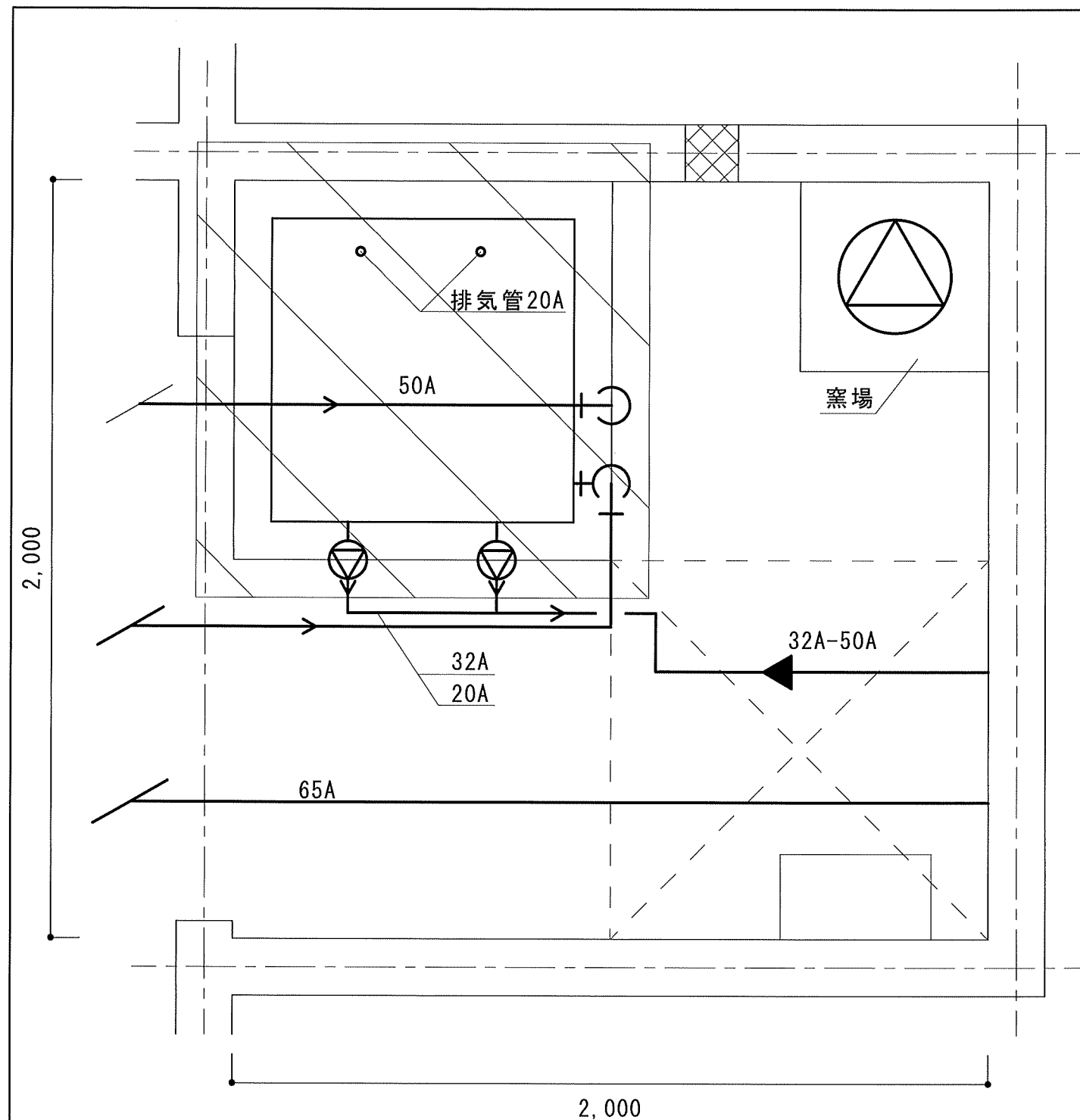
窯場

8,650

H(床から天井まで) 5.6m

コンクリート打設

工 事 名 称	真空給水ポンプ等更新工事	図 面 番 号	全 1 1 葉 の 内 5
図 面 名 称	#260新設平面図	縮 尺	NONE
航 空 自 衛 隊 三 沢 基 地			



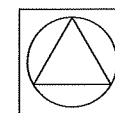
撤去数量

名 称	数 量	単 位	備 考
真空給水ポンプ	1	台	3 3 0 kg
排水水中ポンプ	1	台	
蒸気管	6	m	S G P (黒) 6 5 A
還水管	2	m	S T P G (黒) 5 0 A 一次側
還水管	4	m	S T P G (黒) 5 0 A 二次側
還水管	1	m	S T P G (黒) 3 2 A 給水ポンプ
排気管	4	m	S G P (黒) 2 0 A
補給水管	2	m	S G P - V A (黒) 2 0 A
排水管	1	m	S G P (白) 1 5 A
機械はつり	1	箇所	Φ 1 2 5 × 厚さ 1 5 0 mm



及び太線は、撤去範囲を示す。数量は上記のとおり。

凡例

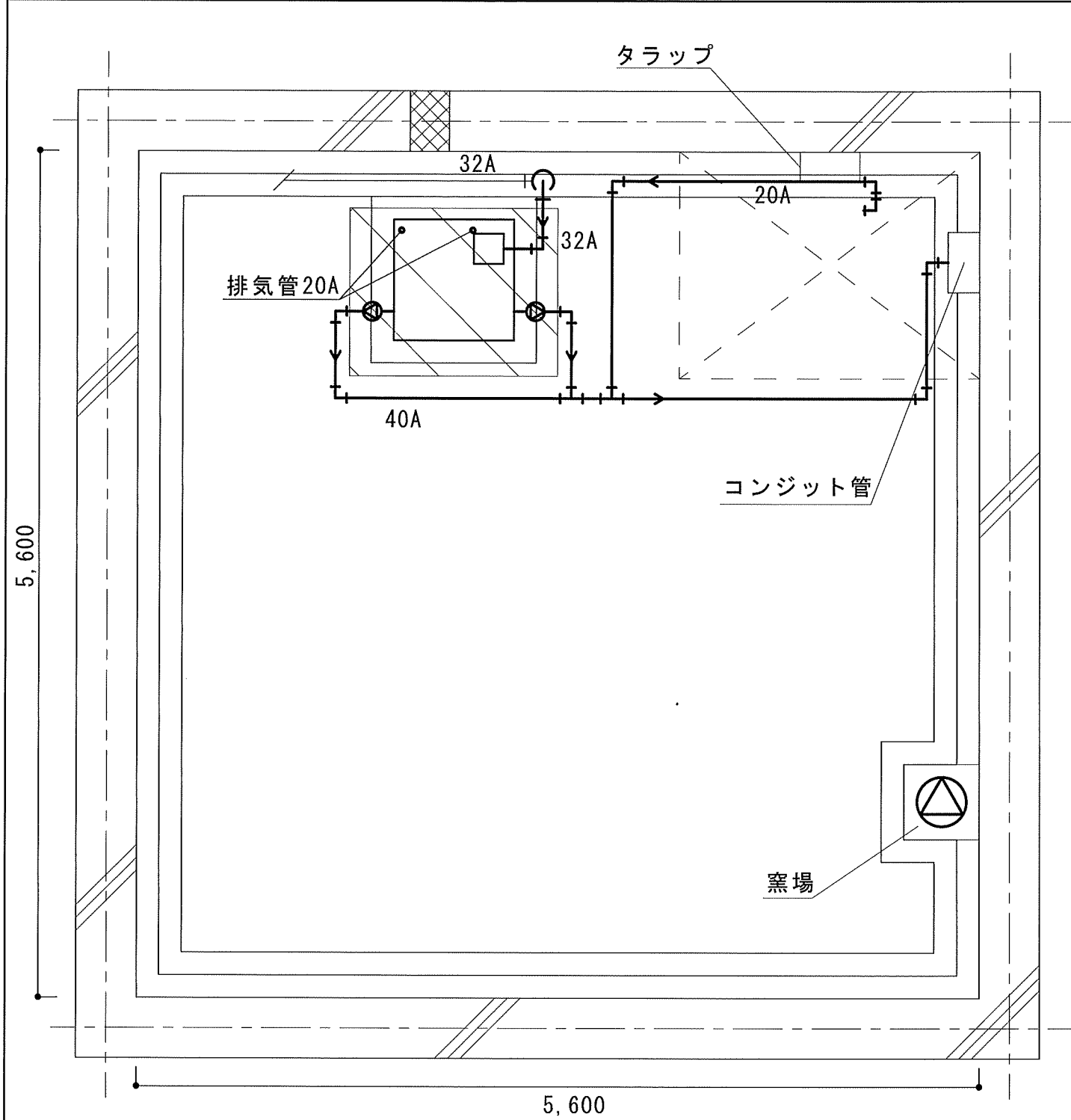


ポンプ



機械はつり

工 事 名 称	真空給水ポンプ等更新工事	図 面 番 号	全 1 1 葉の内 6
		縮 尺 NONE	
図 面 名 称	# 2 3 1 撤去平面図		
航 空 自 衛 隊 三 沢 基 地			



撤去数量

名 称	数 量	単 位	備 考
真空給水ポンプ	1	台	3 3 0 kg
排水水中ポンプ	1	台	
還水管	4	m	S T P G (黒) 3 2 A 一次側
還水管	6	m	S T P G (黒) 2 0 A
還水管	1 0	m	S T P G (黒) 4 0 A 二次側
排気管	4	m	S G P (黒) 2 0 A
ロックウール保温材	1 0	m	4 0 A t = 3 0 アルミガラスクロス
ロックウール保温材	6	m	2 0 A t = 2 0 アルミガラスクロス
機械はつり	1	箇所	Φ 1 2 5 × 厚さ 1 5 0 mm

及び太線は、撤去範囲を示す。数量は上記のとおり。

凡例



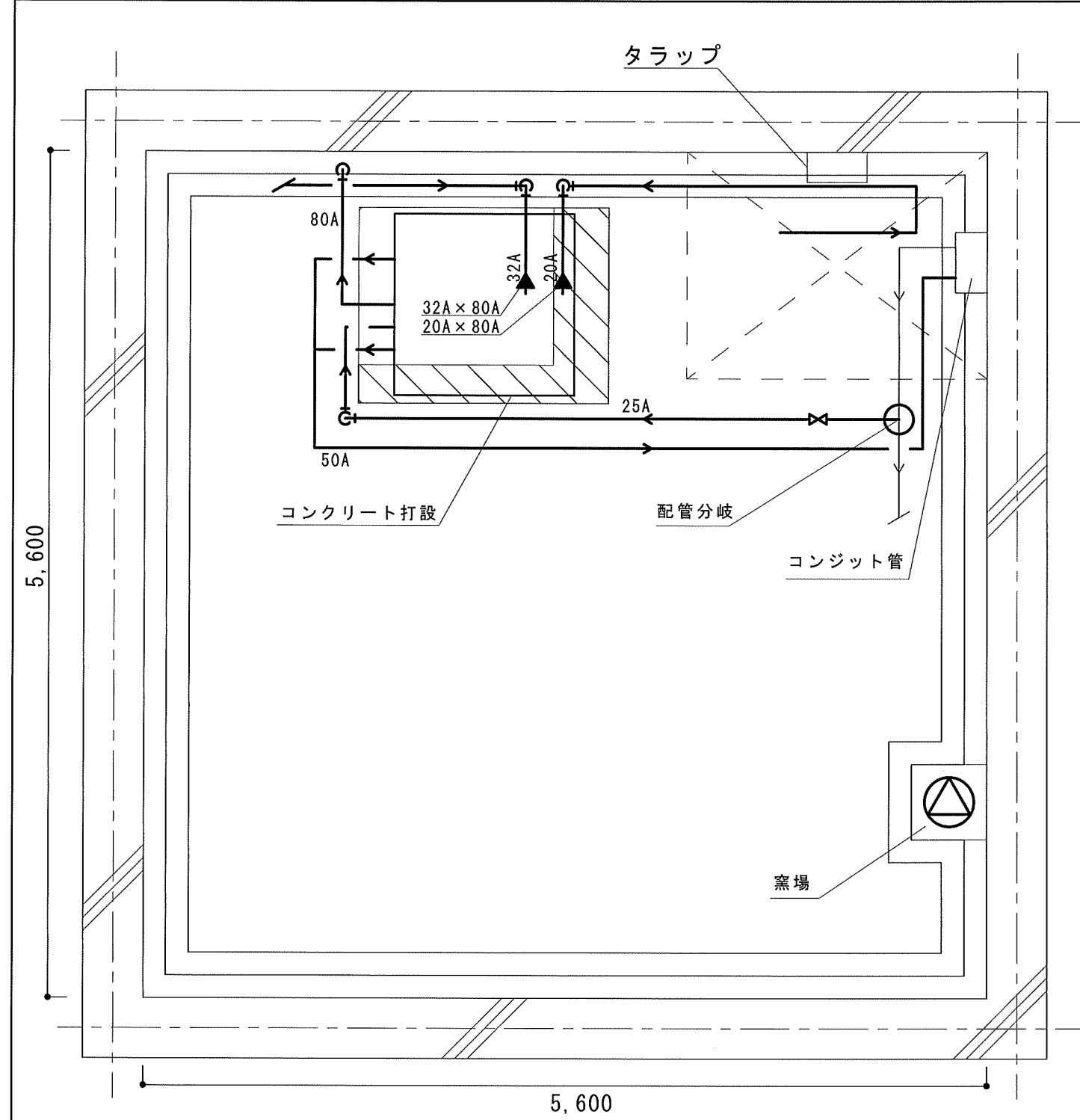
ポンプ



機械はつり

H (床から天井まで) 4 . 4 m

工 事 名 称	真空給水ポンプ等更新工事	図 面 番 号	全 1 1 葉 の 内 8
図 面 名 称	# 3 7 8 撤去平面図	縮 尺	NONE
航 空 自 衛 隊 三 沢 基 地			



新設数量

名 称	数 量	単 位	備 考
プレッシャーポンプ	1	台	MFP14-UNIT
排水水中ポンプ	1	台	40PUA2.25S
蒸気管	10	m	SGP(黒)25A
還水管	2	m	STPG(黒)32A 一次側 接続口80A
還水管	6	m	STPG(黒)20A 一次側 接続口80A
還水管	4	m	STPG(黒)50A
大気開放管	4	m	SGP(黒)80A
オーバーフロー管	2	m	SGP(黒)50A
配管塗装	4	m	80A さび止め2回
配管塗装	6	m	50A さび止め2回
配管塗装	2	m	32A さび止め2回
配管塗装	10	m	25A さび止め2回
配管塗装	6	m	20A さび止め2回
ロックウール保温材	10	m	蒸気管 25A t=20 Pフィルム 着色アルミガラスクロス
ロックウール保温材	4	m	還水管 50A t=30 Pフィルム 着色アルミガラスクロス
ロックウール保温材	6	m	還水管 20A t=20 Pフィルム 着色アルミガラスクロス
コンクリート打設	1	箇所	型枠・打設手間含む
配管分岐	1	箇所	50A×25A 玉形弁25A含む
排水水中ポンプ接続	1	箇所	

及び太線は、新設範囲を示す。数量は上記のとおり。

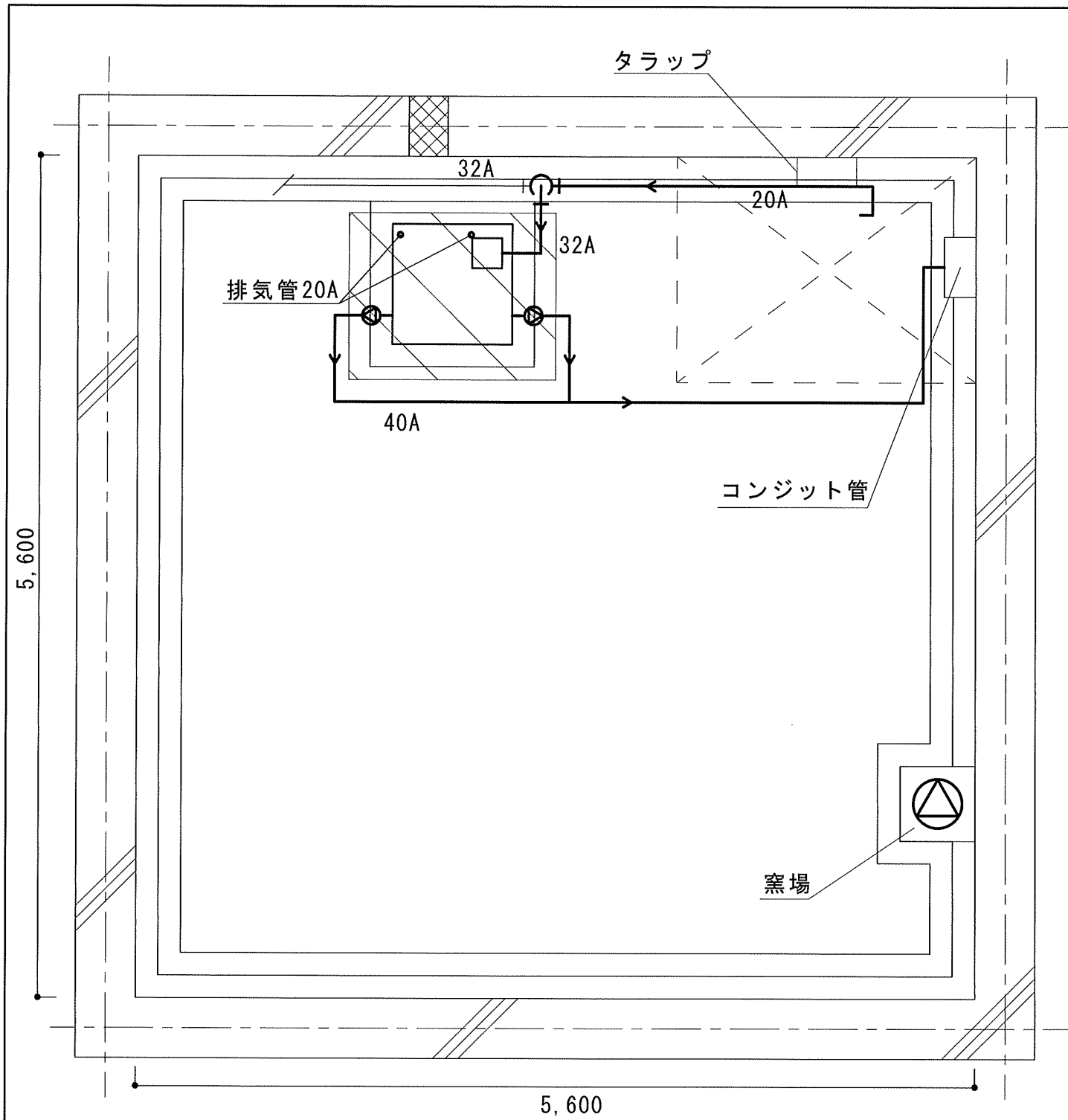
凡例

ポンプ

※配管の取合いに関しては監督官と協議の上決定するものとする。

H（床から天井まで）4.4m

工 事 名 称	真空給水ポンプ等更新工事	図 面 番 号	全 1 1 葉 の 内 9
図 面 名 称	# 3 7 8 新設平面図	縮 尺	NONE
航 空 自 衛 隊 三 沢 基 地			



撤去数量

名 称	数 量	単 位	備 考
真空給水ポンプ	1	台	3 3 0 kg
排水水中ポンプ	1	台	
還水管	4	m	S T P G (黒) 3 2 A 一次側
還水管	6	m	S T P G (黒) 2 0 A
還水管	1 0	m	S T P G (黒) 4 0 A 二次側
排気管	4	m	S G P (黒) 2 0 A
ロックウール保温材	1 0	m	4 0 A t = 3 0 アルミガラスクロス
ロックウール保温材	6	m	2 0 A t = 2 0 アルミガラスクロス
機械はつり	1	箇所	Φ 1 2 5 × 厚さ 1 5 0 mm

及び太線は、撤去範囲を示す。数量は上記のとおり。

凡例



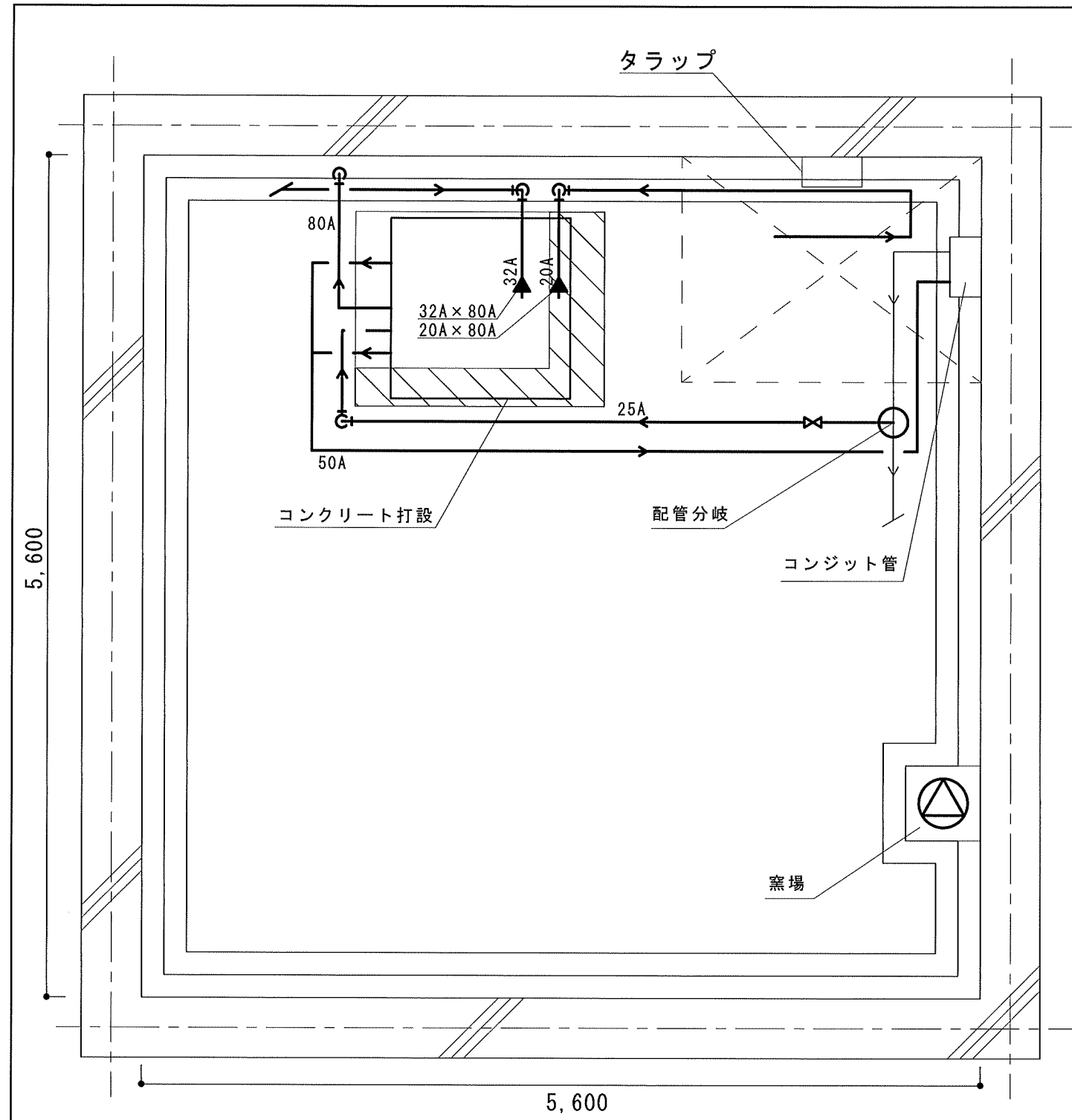
ポンプ



機械はつり

H (床から天井まで) 4 . 4 m

工 事 名 称	真空給水ポンプ等更新工事	図 面 番 号	全 1 1 葉 の 内 1 0
図 面 名 称	# 3 7 9 撤去平面図	縮 尺	NONE
航 空 自 衛 隊 三 沢 基 地			



新設数量

名 称	数 量	単 位	備 考
プレッシャーポンプ	1	台	MFP14-UNIT
排水水中ポンプ	1	台	40PUA2.25S
蒸気管	10	m	SGP(黒)25A
還水管	2	m	STPG(黒)32A 一次側 接続口80A
還水管	6	m	STPG(黒)20A 一次側 接続口80A
還水管	4	m	STPG(黒)50A
大気開放管	4	m	SGP(黒)80A
オーバーフロー管	2	m	SGP(黒)50A
配管塗装	4	m	80A さび止め2回
配管塗装	6	m	50A さび止め2回
配管塗装	2	m	32A さび止め2回
配管塗装	10	m	25A さび止め2回
配管塗装	6	m	20A さび止め2回
ロックウール保温材	10	m	蒸気管 25A t=20 Pフィルム 着色アルミガラスクロス
ロックウール保温材	4	m	還水管 50A t=30 Pフィルム 着色アルミガラスクロス
ロックウール保温材	6	m	還水管 20A t=20 Pフィルム 着色アルミガラスクロス
コンクリート打設	1	箇所	型枠・打設手間含む
配管分岐	1	箇所	50A x 25A 玉形弁25A含む
排水水中ポンプ接続	1	箇所	

及び太線は、新設範囲を示す。数量は上記のとおり。

凡例

ポンプ

※配管の取合いに関しては監督官と協議の上決定するものとする。

H（床から天井まで）4.4m

工 事 名 称	真空給水ポンプ等更新工事	図 面 番 号	全 1 1 葉の内
			1 1
図 面 名 称	# 3 7 9 新設平面図	縮 尺	
		NONE	
航 空 自 衛 隊 三 沢 基 地			

一 般 競 争 参 加 資 格 確 認 申 請 書

令和 8 年 月 日

契約担当官

航空自衛隊第 3 航空団

会計隊長 長谷川 拓生 殿

住 所

商号又は名称

代表者氏名

印

令和 8 年 10 月 13 日付けで入札公告のありました真空給水ポンプ等更新工事に係る競争参加資格について確認されたく、下記の書類を添えて申請します。

なお、予算決算及び会計令（昭和 2 2 年勅令第 1 6 5 号）第 7 0 条の規定に該当する者でないこと及び添付書類の内容について事実と相違と相違ないことを誓約します。

記

- 1 同種の工事の施工実績を記載した書面
- 2 配置予定の技術者の資格等を記載した書面
- 3 同種の工事の契約書の写し（契約書の写しの提出を求める場合のみ）

以 上

注 1） 返信用封筒として、表に申請者の住所・氏名を記

載し、簡易書留料金分を加えた所定の料金の切手を貼った長 3 号封筒を申請書と併せて提出して下さい。

同 種 の 工 事 の 施 工 実 績

会社名

工 事 名 称 等	工 事 名	
	発 注 機 関 名	
	工 事 場 所	
	契 約 金 額	
	工 期	年 月～ 年 月
	受注形態等	)
工 事 概 要	構造形式	
	規模・寸法	
	使用機材・数量	
	施工条件	
	そ の 他	
CORINS 登録の有無		有 (CORINS 登録番号) 無

注) 1 必ず同種工事が確認できる内容で記載のこと。

2 CORINS 登録の有無について、いずれかに○を付す。「有」に○を付した場合は、CORINS の登録番号を記載すること。「無」に○を付した場合は契約書の写しを添付すること。

3 記載する工事が、平成13年12月25日以降に完成した地方防衛局等の発注した工事の場合は、当該工事に係る施工成績評定通知書又は工事成績評定通知書等の写しを添付すること。ただし、成績評定が行われなかった場合は、添付は要しない。

(記入要領)

同 種 の 工 事 の 施 工 実 績

会社名

工 事 名 称 等	工 事 名	
	発 注 機 関 名	
	工 事 場 所	(都道府県名、市町村名を記入する。)
	契 約 金 額	(百万円単位で記入する。)
	工 期	年 月～ 年 月
	受注形態等	単体／ J V (出資比率)
工 事 概 要	構造形式	
	規模・寸法	
	使用機材・数量	
	施工条件	(市街地・軟弱地質等)
	そ の 他	
CORINS 登録の有無		有 (CORINS 登録番号) 無

注) 1 必ず同種工事が確認できる内容で記載のこと。

2 CORINS 登録の有無について、いずれかに○を付す。「有」に○を付した場合は、CORINS の登録番号を記載すること。「無」に○を付した場合は契約書の写しを添付すること。

3 記載する工事が、平成13年12月25日以降に完成した地方防衛局等の発注した工事の場合は、当該工事に係る施工成績評定通知書又は工事成績評定通知書等の写しを添付すること。ただし、成績評定が行われなかった場合は、添付は要しない。

配 置 予 定 の 技 術 者

会社名

項	目	
氏	名	
最	終 学 歴	
法令による 資格・免許		
工事概要	工事名	
	発注者名	
	工事場所	
	契約金額	
	工期	年 月 ～ 年 月
	従事役職	
	工事内容	
	CORINS 登録の有無	有 (CORINS 登録番号) 無
申請時に おける他 工事の従 事状況等	工事名	
	発注者名	
	工期	年 月 ～ 年 月
	従事役職	
	本工事と重複する 場合の対応措置	
	CORINS 登録の有無	有 (CORINS 登録番号) 無

注) 1 必ず同種工事が確認できる内容で記載のこと。

2 CORINS 登録の有無について、いずれかに○を付す。「有」に○を付した場合は、CORINS の登録番号を記載すること。「無」に○を付した場合は契約書の写しを添付すること。

3 記載する工事が、平成13年12月25日以降に完成した地方防衛局等の発注した工事の場合は、当該工事に係る施工成績評定通知書又は工事成績評定通知書等の写しを添付すること。ただし、成績評定が行われなかった場合は、添付は要しない。

(記入要領)

配 置 予 定 の 技 術 者

会社名

項	目	主任技術者又は監理技術者
氏	名	
最	終	学 歴
		(学校名、学科名及び卒業年次を記入する。)
	法令による 資格・免許	(施工管理技士、建築士等の名称及び取得年月日、監理 技術者資格の取得年月日、登録番号及び登録 会社並びに監理技術者講習の取得年月日及び修了証番 号を記入する。)
工事概要	工事名	
	発注者名	
	工事場所	(都道府県名、市町村名を記入する。)
	契約金額	(百万円単位で記入する)
	工期	年 月 ～ 年 月
	従事役職	(現場代理人、主任(監理)技術者等の名称)
	工事内容	
	CORINS 登録の有無	有 (CORINS 登録番号) 無
申請時に おける他 工事の従 事状況等	工事名	
	発注者名	
	工期	年 月 ～ 年 月
	従事役職	(現場代理人、主任(監理)技術者等の名称)
	本工事と重複する 場合の対応措置	
	CORINS 登録の有無	有 (CORINS 登録番号) 無

注) 1 必ず同種工事が確認できる内容で記載のこと。

2 CORINS 登録の有無について、いずれかに○を付す。「有」に○を付した場合は、CORINS の登録番号を記載すること。「無」に○を付した場合は契約書の写しを添付すること。

3 記載する工事が、平成13年12月25日以降に完成した地方防衛局等の発注した工事の場合は、当該工事に係る施工成績評定通知書又は工事成績評定通知書等の写しを添付すること。ただし、成績評定が行われなかった場合は、添付は要しない。

令和 年 月 日

誓 約 書

契約担当官

航空自衛隊第3航空団

会計隊長 長谷川 拓生 殿

住 所

商号又は名称

代表者氏名

電 話 番 号

弊社は、過去 年間に防衛省発注の工事(業務)を完成(完了)・引渡ししておりますが、その際、契約条項に則り守秘義務に努めておりました。今回、本工事(業務)を受注する際には、過年度の契約と同様に、契約条項に則り守秘義務に努めること、また、契約を履行する一環として収集、整理、作成等した一切の情報については、発注者の同意なく、代表権を有する者、役員(持分会社にあっては社員を含む。)、管理職員等であっても、その取扱いを認められた者以外の者はこれに接しないこと、及び、職務上の下級者等に対してその提供を要求しないなど情報の保全に万全を期すこと、あわせて、本業務に従事する業務従事者若しくは親会社等の国籍その他これに類するものが、発注者との契約に違反する行為を求められた場合に、これを拒む権利を実効性をもって法的に保障されない国又は地域に該当する者及び国連安保理決議において労働許可を提供しないことが決定されている国又は地域に該当する者でないことを誓約いたします。

記載例

(防衛省の発注工事において過去実績がある場合)

令和 年 月 日

誓 約 書

契約担当官

航空自衛隊第3航空団

会計隊長 長谷川 拓生 殿

住 所

商号又は名称

代表者氏名

電 話 番 号

弊社は、過去 5 年間に防衛省発注の工事(業務)を完成(完了)・引渡ししておりますが、その際、契約条項に則り守秘義務に努めておりました。今回、本工事(業務)を受注する際には、過年度の契約と同様に、契約条項に則り守秘義務に努めること、また、契約を履行する一環として収集、整理、作成等した一切の情報については、発注者の同意なく、代表権を有する者、役員(持分会社にあつては社員を含む。)、管理職員等であっても、その取扱いを認められた者以外の者はこれに接しないこと、及び、職務上の下級者等に対してその提供を要求しないなど情報の保全に万全を期すこと、あわせて、本業務に従事する業務従事者若しくは親会社等の国籍その他これに類するものが、発注者との契約に違反する行為を求められた場合に、これを拒む権利を実効性をもって法的に保障されない国又は地域に該当する者及び国連安保理決議において労働許可を提供しないことが決定されている国又は地域に該当する者でないことを誓約いたします。

令和 年 月 日

誓 約 書

契約担当官

航空自衛隊第3航空団

会計隊長 長谷川 拓生 殿

住 所

商号又は名称

代表者氏名

電 話 番 号

弊社は、本工事(業務)を受注する際には、契約条項に則り守秘義務に努めること、また、契約を履行する一環として収集、整理、作成等した一切の情報については、発注者の同意なく、代表権を有する者、役員(持分会社にあつては社員を含む。)、管理職員等であっても、その取扱いを認められた者以外の者はこれに接しないこと、及び、職務上の下級者等に対してその提供を要求しないなど情報の保全に万全を期すこと、あわせて、本業務に従事する業務従事者若しくは親会社等の国籍その他これに類するものが、発注者との契約に違反する行為を求められた場合に、これを拒む権利を実効性をもって法的に保障されない国又は地域に該当する者及び国連安保理決議において労働許可を提供しないことが決定されている国又は地域に該当する者でないことを誓約いたします。

記載例

(防衛省の発注工事において過去実績がない場合)

令和 年 月 日

誓 約 書

契約担当官

航空自衛隊第3航空団

会計隊長 長谷川 拓生 殿

住 所

商号又は名称

代表者氏名

電 話 番 号

弊社は、本工事(業務)を受注する際には、契約条項に則り守秘義務に努めること、また、契約を履行する一環として収集、整理、作成等した一切の情報については、発注者の同意なく、代表権を有する者、役員(持分会社にあつては社員を含む。)、管理職員等であっても、その取扱いを認められた者以外の者はこれに接しないこと、及び、職務上の下級者等に対してその提供を要求しないなど情報の保全に万全を期すこと、あわせて、本業務に従事する業務従事者若しくは親会社等の国籍その他これに類するものが、発注者との契約に違反する行為を求められた場合に、これを拒む権利を実効性をもって法的に保障されない国又は地域に該当する者及び国連安保理決議において労働許可を提供しないことが決定されている国又は地域に該当する者でないことを誓約いたします。

令和8年 月 日

契約担当官

航空自衛隊第3航空団

会計隊長 長谷川 拓生 殿

住所

商号又は名称

代表者名

印

工事費内訳書

工事名	真空給水ポンプ等更新工事
-----	--------------

工種等	金額（円）
1 直接工事費(a)	
直接工事費のうち労務費	
直接工事費のうち材料費	
2 共通仮設費	
3 現場管理費	
現場管理費のうち法定福利費の事業主負担額	
現場管理費のうち建築業退職金共済制度の掛金	
工事原価のうちの安全衛生経費	
4 産業廃棄物処分費	
5 一般管理費	
工事価格（合計） 1～5の合計金額を記入ください	（税抜）

- ※
- 1 直接工事費の細部内訳明細書を作成し、本様式を表紙としてご提出ください。
 - 2 初回の入札金額に対応した価格をご記入ください。
 - 3 提出する際は入札書とは別の封筒へ入れ、「社名」と「入札書」又は「内訳書」の記入をしてご提出ください。
 - 4 郵便の場合は「入札書の封筒」「内訳書の封筒」の2つを、別の1つの封筒へ入れて郵送してください。
 - 5 細部内訳明細書は任意様式でも結構です。
 - 6 提出期限については公告をご確認ください。

細 目 別 内 訳 書						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1 仮設工事						
ア 仮設工事						
1－1 # 1 1 7						
ア 内部仕上足場	5.7m以上7.4m未満	11.8	m ²			
イ 仮設材運搬	内部仕上足場	11.8	m ²			
				小計		1-1ア～イの合計
1－2 # 2 6 0						
ア 内部仕上足場	5.0m以上5.7m未満	29.4	m ²			
イ 仮設材運搬	内部仕上足場	29.4	m ²			
				小計		1-2ア～イの合計
1－3 # 3 7 8						
ア 内部仕上足場	4.0m越5.0m未満	15.7	m ²			
イ 仮設材運搬	内部仕上足場	15.7	m ²			
				小計		1-3ア～イの合計
1－4 # 3 7 9						
ア 内部仕上足場	4.0m越5.0m未満	15.7	m ²			
イ 仮設材運搬	内部仕上足場	15.7	m ²			
				小計		1-4ア～イの合計
				中計(合計)		1-1～4の合計
2 設備機械改修						
2－1 # 1 1 7						
2－1－1 撤去						
(1) 設備機械						
ア 凝縮水ポンプ	1190kg	1	台			
イ 凝縮水ポンプ	330kg	1	台			
ウ 真空給水ポンプ	440kg	1	台			

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
エ 排水水中ポンプ	70kg	1	台			
(2) 配管						
ア 還水管						
(ア) 還水圧送配管	STPG（黒） 65A	4	m			
(イ) 高压還水管	STPG（黒） 80A	8	m			
(ウ) 中圧還水管	STPG（黒） 65A	10	m			
(エ) 低圧還水管	STPG（黒） 80A	4	m			
(オ) 還水管	STPG（黒） 100A	8	m			
(カ) 還水管	STPG（黒） 50A	8	m			
(キ) 還水管	STPG（黒） 50A	8	m			
(ク) 還水管	STPG（黒） 40A	10	m			
(ケ) 還水管	STPG（黒） 125A	2	m			
(コ) 還水管	STPG（黒） 80A	4	m			
イ 排気管	SGP（黒） 25A	48	m			
ウ 補給水管	SGP-VA（黒） 25A	8	m			
エ 排水管	SGP（黒） 80A	12	m			
(3) 弁類						
ア 仕切弁						
(ア) 80A	高压還水	2	個			
(イ) 65A	中圧還水	2	個			
(ウ) 65A	低圧還水	2	個			
(エ) 100A	高压給水	2	個			
イ 逆止弁 100A	高压給水	2	個			
(4) 保温材						
(ア) ロックウール 125A	t=25	2	m			
(イ) ロックウール 100A	t=25	8	m			
(ウ) ロックウール 80A	t=20	16	m			
(エ) ロックウール 65A	t=20	14	m			

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(オ) ロックウール 50A	t=20	16	m			
(5) はつり補修						
ア 機械はつり	125mm 100～150mm	2	か所			
(6) 機器搬出						
ア 機械搬出	3000kg以下	1	台			
イ 機器搬出	500kg以下	2	台			
				小計		2-1-1(1)～(6)の合計
2－1－2 新設						
(1) 設備機械						
ア プレッシャーポンプ	80A×50A MFP14-UNIT 2連式	2	台			
イ 排水水中ポンプ	80A 200V 3.7kW	1	台			
(2) 配管						
ア 蒸気管						
(ア) 40A	SGP（黒）	8	m			
(イ) 25A	SGP（黒）	10	m			
(ウ) 安全弁開放管25A	SGP（黒）	8	m			
イ 還水管						
(ア) 還水圧送配管	STPG（黒） 65A	8	m			
(イ) 高圧還水管	STPG（黒） 80A	12	m			
(ウ) 中圧還水管	STPG（黒） 65A	10	m			
(エ) 低圧還水管	STPG（黒） 80A	8	m			
(オ) 低圧還水管	STPG（黒） 40A	4	m			
(カ) 還水管	STPG（黒） 125A	2	m			
(キ) 還水管	STPG（黒） 80A	2	m			
(ク) 還水管	STPG（黒） 50A	14	m			
ウ 大気開放管	SGP（黒） 80A	16	m			
エ オーバーフロー管	SGP（黒） 50A	6	m			

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
オ ドレン管	SGP（黒） 20A	4	か所			
カ 排水管	SGP（白） 80A	6	m			
ク 配管分岐	65A×40A	1	か所			
(3) 弁類						
ア 安全弁	25A	1	個			
(4) 塗装・保温						
ア 塗装						
(ア) STPG(黒) 125A	さび止め2回	2	m			
(イ) SGP・STPG(黒) 80A	さび止め2回	38	m			
(ウ) STPG(黒) 65A	さび止め2回	18	m			
(エ) SGP・STPG(黒) 50A	さび止め2回	20	m			
(オ) SGP・STPG(黒) 40A	さび止め2回	14	m			
(カ) SGP(黒) 25A	さび止め2回	18	m			
(キ) SGP(白) 80A	さび止め1回 合成樹脂塗料2回	6	m			
イ 保温						
(ア) 蒸気管 40A t=30	ロックウール Pフィルム+着色ALGC	8	m			
(イ) 蒸気管 25A t=20	ロックウール Pフィルム+着色ALGC	10	m			
(ウ) 還水管 125A t=25	ロックウール Pフィルム+着色ALGC	2	m			
(エ) 還水管 80A t=20	ロックウール Pフィルム+着色ALGC	22	m			
(オ) 還水管 65A t=20	ロックウール Pフィルム+着色ALGC	18	m			
(カ) 還水管 50A t=20	ロックウール Pフィルム+着色ALGC	14	m			
(キ) 還水管 40A t=20	ロックウール Pフィルム+着色ALGC	4	m			
(5) コンクリート工事						
ア 基礎打設						
(ア) 型枠		0.9	m ²			
(イ) コンクリート	人力打設	0.3	m ³			

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(6) 水中ポンプ配管接続						
ア 配管接続	80A	1	か所			
(7) 機器搬入						
ア 機器搬入	800kg以下	2	台			
				小計		2-1-2(1)～(7)の合計
2－1－3 その他						
(1) 石綿調査・分析						
ア 調査・分析	保温材・配管接合材	1	式			
(2) 総合調整						
ア 主機械室内機器	建物延べ面積5000㎡以下	1	式			
				小計		2-1-3(1)～(2)の合計
				中計		2-1-1～3の合計
2－2 # 2 6 0	執務並行改修					
2－2－1 撤去						
(1) 設備機械						
ア 真空給水ポンプ	450kg	1	台			
イ 排水水中ポンプ		1	台			
(2) 配管						
ア 蒸気管						
(ア) 50A	SGP（黒）	2	m			
イ 還水管						
(ア) 80A	STPG（黒）	2	m			
(イ) 50A	STPG（黒）	4	m			

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ウ 排気管						
(ア) 20A	SGP (黒)	14	m			
エ 補給水管						
(ア) 20A	SGP-VA (黒)	2	m			
オ 排水管						
(ア) 15A	SGP (白)	2	m			
(3) 弁類						
ア 仕切弁80A		1	個			
(4) はつり補修						
ア 機械はつり	125mm 100～150mm	1	か所			
(5) 機器搬出						
ア 機械搬出	500kg以下	1	台			
				小計		2-2-1 (1) ～ (5) の合計
2－2－2 新設						
(1) 設備機械						
ア プレッシャーポンプ	80A×50A MFP14-UNIT 2連式	1	台			
イ 排水水中ポンプ	40A 100V 0.25kW	1	台			
(2) 配管						
ア 蒸気管						
(ア) 25A	SGP (黒)	8	m			
イ 還水管						
(ア) 80A	STPG (黒)	2	m			
(イ) 50A	STPG (黒)	4	m			

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ウ 大気開放管 80A	SGP（黒）	8	m			
エ オーバーフロー管 50A	SGP（黒）	2	m			
(3) 弁類						
ア 玉形弁25A	10K	1	個			
(4) 塗装・保温						
ア 塗装						
(ア) SGP・STPG(黒) 80A	さび止め2回	10	m			
(イ) SGP・STPG(黒) 50A	さび止め2回	6	m			
(ウ) SGP(黒) 25A	さび止め2回	8	m			
イ 保温						
(ア) 蒸気管 25A t=20	ロックウール ALGC	8	m			
(5) コンクリート工事						
ア 基礎打設						
(ア) 型枠		0.3	m ²			
(イ) コンクリート	人力打設	0.2	m ³			
(6) 水中ポンプ配管接続						
ア 配管接続	50A	1	か所			
(7) 機器搬入						
ア 機器搬入	800kg以下	1	台			
				小計		2-2-2(1)～(7)の合計

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
2－2－3 その他						
(1) 石綿調査・分析						
ア 調査・分析	保温材・配管接合材	1	式			
(2) 総合調整						
ア 主機械室内機器	建物延べ面積5001㎡～15000㎡	1	式			
				小計		2-2-3(1)～(2)の合計
				中計		2-2-1～3の合計
2－3 # 2 3 1	執務並行改修					
2－3－1 撤去						
(1) 設備機械						
ア 真空給水ポンプ	330kg	1	台			
イ 排水水中ポンプ		1	台			
(2) 配管						
ア 蒸気管						
(ｱ) 65A	SGP（黒）	6	m			
イ 還水管						
(ｱ) 50A 1次側	STPG（黒）	2	m			
(ｲ) 50A 2次側	STPG（黒）	4	m			
(ｳ) 32A	STPG（黒）	1	m			
ウ 排気管						
(ｱ) 20A	SGP（黒）	4	m			
エ 補給水管						
(ｱ) 20A	SGP-VA（黒）	2	m			

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
オ 排水管						
(ア) 15A	SGP (白)	1	m			
(3) はつり補修						
ア 機械はつり	125mm 100～150mm	1	か所			
(4) 機器搬出						
ア 機械搬出	500kg以下	1	台			
				小計		2-3-1(1)～(4)の合計
2－3－2 新設						
(1) 設備機械						
ア プレッシャーポンプ	50A MFP14-UNIT 分割減圧弁モジュール	1	台			
イ 排水水中ポンプ	40A 100V 0.25kW	1	台			
(2) 配管						
ア 蒸気管						
(ア) 65A	SGP (黒)	6	m			
(イ) 25A	SGP (黒)	8	m			
イ 還水管						
(ア) 50A 1次側	STPG (黒)	6	m			
(イ) 50A 2次側	STPG(黒)	4	m			
ウ 大気開放管 80A	SGP (黒)	4	m			
エ オーバーフロー管 50A	SGP (黒)	2	m			
(3) 弁類						
ア 玉形弁25A	10K	1	個			

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(4) 塗装・保温						
ア 塗装						
(ア) SGP(黒) 80A	さび止め2回	4	m			
(イ) SGP(黒) 65A	さび止め2回	6	m			
(ウ) SGP・STPG(黒) 50A	さび止め2回	10	m			
(エ) SGP(黒) 25A	さび止め2回	8	m			
イ 保温						
(ア) 蒸気管 65A t=40	ロックウール Pフィルム+着色ALGC	6	m			
(イ) 蒸気管 25A t=20	ロックウール Pフィルム+着色ALGC	8	m			
(5) コンクリート工事						
ア 基礎打設						
(ア) 型枠		0.1	m ²			
(イ) コンクリート	人力打設	0.1	m ³			
(6) 水中ポンプ配管接続						
ア 配管接続	50A	1	か所			
(7) 機器搬入						
ア 機器搬入	800kg以下	1	台			
				小計		2-3-2(1)～(7)の合計

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
2－3－3 その他						
(1) 石綿調査・分析						
ア 調査・分析	保温材・配管接合材	1	式			
(2) 総合調整						
ア 主機械室内機器	建物延べ面積5000㎡以下	1	式			
				小計		2-3-3(1)～(2)の合計
				中計		2-3-1～3の合計
2－4 # 3 7 8	執務並行改修					
2－4－1 撤去						
(1) 設備機械						
ア 真空給水ポンプ	330kg	1	台			
イ 排水水中ポンプ		1	台			
(2) 配管						
ア 還水管						
(ア) 32A 1次側	STPG（黒）	4	m			
(イ) 20A	STPG（黒）	6	m			
(ウ) 40A 2次側	STPG（黒）	10	m			
イ 排気管						
(ア) 20A	SGP（黒）	4	m			
(3) 保温材						
(ア) ロックウール 40A	t=30	10	m			
(イ) ロックウール 25A	t=20	6	m			

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(4) はつり補修						
ア 機械はつり	125mm 100～150mm	1	か所			
(5) 機器搬出						
ア 機械搬出	500kg以下	1	台			
				小計		2-4-1(1)～(5)の合計
2－4－2 新設						
(1) 設備機械						
ア プレッシャーポンプ	80A×50A MFP14-UNIT 2連式	1	台			
イ 排水水中ポンプ	40A 100V 0.25kW	1	台			
(2) 配管						
ア 蒸気管						
(ア) 25A	SGP (黒)	10	m			
イ 還水管						
(ア) 32A 1次側	STPG (黒)	2	m			
(イ) 20A 1次側	STPG (黒)	6	m			
(ウ) 50A	STPG (黒)	4	m			
ウ 大気開放管 80A	SGP (黒)	4	m			
エ オーバーフロー管 50A	SGP (黒)	2	m			
オ 配管分岐	50A×25A 玉形弁25A含む	1	か所			
(3) 塗装・保温						
ア 塗装						
(ア) SGP(黒) 80A	さび止め2回	4	m			
(イ) SGP・STPG(黒) 50A	さび止め2回	6	m			

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(ウ) STPG(黒) 32A	さび止め2回	2	m			
(エ) SGP(黒) 25A	さび止め2回	10	m			
(オ) STPG(黒) 20A	さび止め2回	6	m			
イ 保温						
(ア) 蒸気管 25A t=20	ロックウール Pフィルム+着色ALGC	10	m			
(イ) 還水管 50A t=30	ロックウール Pフィルム+着色ALGC	4	m			
(ウ) 還水管 20A t=20	ロックウール Pフィルム+着色ALGC	6	m			
(4) コンクリート工事						
ア 基礎打設						
(ア) 型枠		0.4	m ²			
(イ) コンクリート	人力打設	0.2	m ³			
(5) 水中ポンプ配管接続						
ア 配管接続	50A	1	か所			
(6) 機器搬入						
ア 機器搬入	800kg以下	1	台			
				小計		2-4-2(1)～(6)の合計
2－4－3 その他						
(1) 石綿調査・分析						
ア 調査・分析	保温材・配管接合材	1	式			
(2) 総合調整						
ア 主機械室内機器	建物延べ面積5000㎡以下	1	式			
				小計		2-4-3(1)～(2)の合計
				中計		2-4-1～3の合計

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
2－5 # 3 7 9	執務並行改修					
2－5－1 撤去						
(1) 設備機械						
ア 真空給水ポンプ	330kg	1	台			
イ 排水水中ポンプ		1	台			
(2) 配管						
ア 還水管						
(ア) 32A 1次側	STPG (黒)	4	m			
(イ) 20A	STPG (黒)	6	m			
(ウ) 40A 2次側	STPG (黒)	10	m			
イ 排気管						
(ア) 20A	SGP (黒)	4	m			
(3) 保温材						
(ア) ロックウール 40A	t=30	10	m			
(イ) ロックウール 25A	t=20	6	m			
(4) はつり補修						
ア 機械はつり	125mm 100～150mm	1	か所			
(5) 機器搬出						
ア 機械搬出	500kg以下	1	台			
				小計		2-5-1 (1)～(5)の合計

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
2－5－2 新設						
(1) 設備機械						
ア プレッシュャーポンプ	80A×50A MFP14-UNIT 2連式	1	台			
イ 排水水中ポンプ	40A 100V 0.25kW	1	台			
(2) 配管						
ア 蒸気管						
(ｱ) 25A	SGP (黒)	10	m			
イ 還水管						
(ｱ) 32A 1次側	STPG (黒)	2	m			
(ｲ) 20A 1次側	STPG (黒)	6	m			
(ｳ) 50A	STPG (黒)	4	m			
ウ 大気開放管 80A	SGP (黒)	4	m			
エ オーバーフロー管 50A	SGP (黒)	2	m			
オ 配管分岐	50A×25A 玉形弁25A含む	1	か所			
(3) 塗装・保温						
ア 塗装						
(ｱ) SGP(黒) 80A	さび止め2回	4	m			
(ｲ) SGP・STPG(黒) 50A	さび止め2回	6	m			
(ｳ) STPG(黒) 32A	さび止め2回	2	m			
(エ) SGP(黒) 25A	さび止め2回	10	m			
(オ) STPG(黒) 20A	さび止め2回	6	m			
イ 保温						
(ｱ) 蒸気管 25A t=20	ロックウール Pフィルム+着色ALGC	10	m			

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(イ) 還水管 50A t=30	ロックウール Pフィルム+着色ALGC	4	m			
(ウ) 還水管 20A t=20	ロックウール Pフィルム+着色ALGC	6	m			
(4) コンクリート工事						
ア 基礎打設						
(ア) 型枠		0.4	m ²			
(イ) コンクリート	人力打設	0.2	m ³			
(5) 水中ポンプ配管接続						
ア 配管接続	50A	1	か所			
(6) 機器搬入						
ア 機器搬入	800kg以下	1	台			
				小計		2-5-2(1)～(6)の合計
2－5－3 その他						
(1) 石綿調査・分析						
ア 調査・分析	保温材・配管接合材	1	式			
(2) 総合調整						
ア 主機械室内機器	建物延べ面積5000㎡以下	1	式			
				小計		2-5-3(1)～(2)の合計
				中計		2-5-1～3の合計
				合計		2-1～5の合計

[illegible]

入 札 書

令和8年11月18日

契約担当官
航空自衛隊第3航空団
会計隊長 長谷川 拓生

殿

申 込 者 住 所
会 社 名
代表者職位氏名

工 期		契約締結日 ～令和9年3月31日		工事場所		航空自衛隊三沢基地	
品 名 (件 名)	規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
真空給水ポンプ等更新工事	仕様書のとおり		式	1			
	－ 以 下 余 白 －						
入 札 金 額 ￥							
備 考(辞退理由等)							
貴通知・公告に対し、入札心得・契約条項等承知のうえ、上記のとおり提出します。							

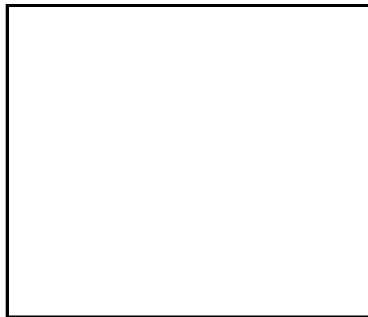
委任状

当社は、
令和 年 月 日から令和 年 月 日までの間、入札等に関する
下記の権限を委任します。

記

- 見積り及び入札に関する件
- 契約の締結に関する件
- 契約物品の納品に関する件
- 代金の請求及び受領に関する件
- 復代理人の選任に関する件

代理人使用印鑑



令和8年11月18日

契約担当官
航空自衛隊第3航空団
会計隊長 長谷川 拓生 殿

住 所
会 社 名
代表者名

印